

平成 25 年度京都大学防災研究所共同研究集会「台風研究会」のご案内
「台風災害の発生メカニズム解明と減災に関する研究集会
—気象学・風工学・土木工学・情報学・報道を交えて—」

2011 年（平成 23 年）の台風第 12 号と 15 号では、90 人以上の死者・行方不明者が出てしまいました。台風は現在でも、社会生活に大きな脅威をもたらす自然現象であることには変わりはありません。最近の科学技術の進歩により台風進路予報の精度が向上してきたにもかかわらず、なぜこれほどまでの甚大な台風災害が起きてしまうのでしょうか？ 異分野の研究者が集い、それぞれの視点からの研究成果を交わすことで、近年の台風災害メカニズムの解明と被害低減の方策・展望を提案することを目的とします。

研究代表者：筆保弘徳（横浜国立大学）

防災研担当者：林 泰一（京都大学防災研究所流域災害研究センター）、竹見 哲也（京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門）

主催：京都大学防災研究所

日時：2013 年 9 月 9 日（月）、10 日（火）

場所：京都大学宇治構内 共通遠隔会議室 HW401
（JR 奈良線黄檗駅、京阪電車黄檗駅 徒歩約 10 分）

講演ご希望の方は、2013 年 7 月 16 日（火）までに、以下の例に従い、演題、発表者などの情報をお申し込みください。旅費の支給をご希望の方はその旨もお知らせください。旅費については、必ずしもご希望にそえるとは限りませんがご了承ください。なお、報告書作成のため、講演者の方には後日 4 ページ程度の講演要旨の提出をお願いいたします。

参加のみご希望の方も同様に、2013 年 7 月 16 日（火）までにご連絡ください。旅費支給は講演者を優先いたします。

申し込み先：筆保弘徳 fude@ynu.ac.jp

=参加票例（講演希望の場合）=====

講演者：筆保弘徳（*）・林泰一

（発表者に*をつける）

講演タイトル： 台風について

講演希望時間帯： いつでも可 / 9 月 9 日午後、
9 月 10 日午前、午後の講演希望

※講演プログラム作成上、必ずしもご希望に沿えない可能性がありますので、ご了承ください。

懇親会：参加する（懇親会は9月9日の講演後に予定しています。） / 参加しない

・講演希望者

所属機関、勤務先（所属部局、部課名などまでご記入ください）京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門

住所：〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1

e-mail: fude@ynu.ac.jp

以下、旅費希望の方

職名： 准教授

旅行区間： 横浜－京都

旅行期間： 平成25年9月9-10日

=====

=====参加票例（参加のみの場合）====

氏名： 竹見哲也

懇親会： 参加（あるいは、参加しない）

所属機関、勤務先（所属部局、部課名などまでご記入ください）

京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門

所属機関住所： 611-0011 宇治市 五ヶ庄

e-mail:

typh00n@tenki.dpr1.kyotodaigaku.ac.jp

=====